

東京都知事

石原 慎太郎 様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面への延伸について（要望）

平成23年8月16日

東大和市

武蔵村山市

瑞穂町

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面への延伸について（要望）

盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、東大和市、武蔵村山市並びに瑞穂町の行政運営につきまして、特段の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、多摩都市モノレールにつきましては、多摩センター・上北台間の開業区間では、平成22年度の1日平均乗客人員が124,678人で、前年度比1.7%、運輸収入では0.7%といずれも増加となり、7期連続で営業黒字を達成するなど安定した経営が達成され、地域住民の重要な交通機関として定着しております。

一方、上北台・箱根ヶ崎間の次期整備区間につきましては、大型商業施設の進出や土地区画整理事業の展開、さらには、新青梅街道拡幅整備に伴う地元説明会も始まり、今後の沿道整備など、モノレールの利用者増加に繋がる開発が進み、延伸に向けた環境が整ってきております。

また、武蔵村山市では、住民主体の「モノレールを呼ぼう！市民の会」が設立されるなど、沿線住民のモノレール整備への期待は、ますます高まりを見せています。

上北台と箱根ヶ崎間をモノレールで結ぶことは、多摩地区北西部の軌道交通ネットワークが充実し、公共交通の利便性が飛躍的に向上するほか、駅等を中心とした多様な機能の集約と公共交通における環境負荷の低減、そして高齢者等にもやさしい活力のあるまちづくりに寄与するものとなります。

つきましては、多摩都市モノレールの次期整備路線として事業化すべき路線にあたる、上北台から箱根ヶ崎間の一日も早い事業化に、最大限の努力をすることを要望いたします。

平成23年8月16日

東大和市長 尾崎 保夫

武蔵村山市長 藤野 勝

瑞穂町長 石塚 幸右衛門